

# ふくしまは今

原発事故から8年。南相馬内の原発事故があったところから20キロから30キロという地域は緊急時避難準備区域として指定されました。この事によって多くの人たちが当該地域から避難をしましたが、高齢者や障害者など、避難ができない人たちが取り残されることとなりました。

青田さんたちは仲間とともに取り残された障害者等への支援をするとともに、福島県内の障害者拠点の復興に尽力をしてきました。しかし去っていったヘルパーの補充は難しく、いくらチラシを撒いても新たなヘルパーは来ず、やむなくサービスを短縮することもありました。

来年日本ではオリンピックが開催されますが、政府はこれを『復興五輪』と称し、あたかも東日本大震災の復興がかなったことを世界にアピールしようとしています。

放射能の基準値を引き上げ警戒区域を解除し、帰還することを進めています。子どもたちの甲状腺ガンが多発しているのにも関わらず、原発事故との因果関係を認めていません。当初県外で処理する放射能汚染土は、どこも引き受けてがないため、県内の公共事業に使用する他、花の栽培に使用する計画を進めています。

今や福島県内で放射能のことを語ることはタブーであるとも言われています。

そんな福島の現状を青田さんをお招きし、率直に話していただき、みんなでこの問題を考えたいと思っています。



## 青田由幸 特定非営利活動法人さぽーとセンターぴあ代表理事

### ■プロフィール■

妻、次女（重度障がい者）とともに仙台市在住。65才。

震災後は母親の介護のため単身南相馬市在住。

障害福祉サービスとして生活介護、就労支援B、相談支援の事業を運営している。

震災直後、全国の市町村で唯一個人情報開示のもと、南相馬市内に取り残された障害者の安否確認、生活支援を行った。

10月6日（日）10:00から11:45

大阪市総合生涯学習センター第1研修室

大阪市北区梅田 1-2-2-500 大阪駅前第2ビル5階

資料代 1000円

定員 100名

事前申込制

手話・点字等を希望される方は必ず9/15までにお申し出ください。

主催 日常生活支援ネットワーク パーティーパーティー

協力 NPO法人ゆめ風基金 BCP研究会

連絡・申込先 ゆめ風基金 〒533-0033 大阪市東淀川区東中島 1-13-43-106

TEL 06-6324-7702 FAX 06-6321-5662 メール:info@yumekazek.com

またはこくちーずでお申し込みください。 <https://kokucheese.com/event/index/575934/>